

シラバス

科目名	積算概論		担当者名	高井 英光	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	建築およびインテリア業界における積算業務の考え方を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築数量積算基準にもとづく土工、躯体、仕上げの数量を、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造の設計例を用いて学ぶ。				
授業概要	「積算概論」では、工事費の構成、積算に必要な用語、数量積算の計算の仕方や資料の収集分析の基礎的な手法を習得し、建築生産における計画、設計、施工の各過程での費用予測・分析法を学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	積算の目的、積算と見積	20		
	3	積算業務の分類、積算の種類	21		
	4	積算の作業工程、積算の要点	22		
	5	建築数量、単位の原則	23		
	6	部分別積算1 土工事、地業工事	24		
	7	部分別積算2 基礎のコンクリート工事	25		
	8	部分別積算3 基礎の型枠	26		
	9	部分別積算4 平屋建てのコンクリート量	27		
	10	部分別積算5 平屋建ての型枠量	28		
	11	部分別積算6 基礎の鉄筋量	29		
	12	部分別積算7 はりの鉄筋量	30		
	13	部分別積算8 柱の鉄筋量	31		
	14	部分別積算9 壁の積算	32		
	15	部分別積算10 スラブの積算	33		
	16	総合計算1	34		
	17	総合計算2	35		
18	確認テスト・まとめ	36			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	単元ごとの小テスト 前期試験	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上S:90~100点、A:80~89、B:70~79点、C:60~69点、D:59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 一級建築士講座講師				

シラバス

科目名	建築法規		担当者名	砂子 政仁	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	建築基準法等の構成及び内容を、テキスト及び法令集を使い学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各々受験するであろう二級建築士学科(法規)の予備知識を付けさせる為、テキスト座学(アウトプット)と確認問題(インプット)を併用し、理解をさせ苦手意識を持たせないようにする。				
授業概要	通年でテキスト一冊を終わらす為、毎回の講義で10ページ程度進める。適宜法令集にアンダーラインを引かせ、条文とテキストとの関連性を説明する。また講義終わりの確認テストを活用し、更に理解度を高めさせる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	法令集使用方法等説明、見出しインデックス貼り、その他	19	同、(2)	
	2	(講義)用語の定義	20	防火制限と内装制限 (1)	
	3	建築確認申請手続き等	21	同、(2)	
	4	敷地、面積、高さ等 (1)	22	耐火建築にしなければならない建築物	
	5	同、(2)	23	防火区画・防火壁等(1)	
	6	室内環境と安全 (1)	24	避難経路、非常用避難施設 (1)	
	7	同、(2)	25	構造強度(1)	
	8	同、(3)	26	同、(2)	
	9	同、(4)	27	同、(3)	
	10	都市計画区域内による建築形態制限(1)	28	同、(4)	
	11	同、(2)	29	建築士法等、その他の法令	
	12	同、(3)	30	後期期末テスト対策講義	
	13	同、(4)	31		
	14	高さの制限(1)	32		
	15	同、(2)	33		
	16	前期期末テスト対策講義(1)	34		
	17	同、(2)	35		
18	防火地域、準防火地域の建築制限 (1)	36			
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	出席率80%以上、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	一級建築士、介護福祉士として設計事務所を主宰する傍ら、専門学校や建築士予備校及び介護現場等で活動する。				

シラバス

科目名	建築設備		担当者名	宮下 紘幸	
学科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	主な住宅設備の仕組みや使い勝手、注意点等の基本を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	生活の基盤である住宅に用いられている、各種住宅設備の知識を学び、建築プランニングに活かせるようにする。				
授業概要	身近な住宅設備の基本的知識を講義により習得する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	<電気設備>役割・関連法規 他	19	<換気設備>	
	2	1. 受変電設備 他	20	<給排水・衛生設備>	
	3	2. 照明設備 照明に関する用語	21	1. 給水設備	
	4	配光別方式①	22	給水方式・給水圧 他	
	5	配光別方式②	23	配管類・ヘッダー工法 他	
	6	建築化照明 他	24	2・給湯設備	
	7	光源の種類 他	25	給湯方式 他	
	8	照明器具の種類	26	3. ガス設備	
	9	◇住宅各スペースの計画①	27	<衛生設備>	
	10	◇住宅各スペースの計画②	28	便器・洗面・浴室①	
	11	◇住宅各スペースの計画③	29	便器・洗面・浴室②	
	12	◇住宅各スペースの計画④	30	確認テスト・まとめ	
	13	◇住宅各スペースの計画⑤	31		
	14	◇照明計算・防災照明 他	32		
	15	3. コンセント設備	33		
	16	<厨房設備>概論	34		
	17	◇システムキッチン 建築構造と設備の関係	35		
18	◇ビルトイン機器と設備	36			
成績割合	テスト	90%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	10%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習> R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習> G<海外体感型学習>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	建築構造設計		担当者名	外塚 浩幸		
学 科	建築学科		授業方法	講義		
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	建築の構造計算の基礎を学び、建築物の安全性確保に関する取り組みを理解させる。実務における許容応力度設計の全体像を把握させ、構造計算の基礎を身に付けさせる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	許容応力度設計の基本的計算問題を通して用いられている係数の意味を把握させる。 2級建築士学科試験の構造分野の知識の習得を図る。					
授業概要	スライドを用いて、文章だけでは理解しにくい考え方をわかりやすく説明していく。また、テキストに掲載されている例題とそれに連携する、過去の二級建築士試験で出題された問題も用いて演習を行う。					
授業計画表	授業内容				授業内容	
	1	ガイダンス		19		
	2	構造力学に使われる物理の基礎知識について		20		
	3	固有周期と振動エネルギー		21		
	4	構造設計の進め方		22		
	5	構造計算に必要な重力方向の荷重について		23		
	6	構造計算に必要な水平方向の荷重について(風圧力)		24		
	7	構造計算に必要な水平方向の荷重について(地震力)		25		
	8	鉄筋コンクリート構造(梁・柱)		26		
	9	鉄筋コンクリート構造(床・せん断補強)		27		
	10	鉄骨構造(鋼材・接合方法)		28		
	11	鉄骨構造(引張材・圧縮材)		29		
	12	鉄骨構造(梁・柱)		30		
	13	鉄骨構造(接合部)		31		
	14	層間変形角		32		
	15	剛性率と偏心率		33		
	16	終局耐力と保有水平耐力		34		
	17	期末テスト		35		
	18	テストの解説と全体のまとめ		36		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期、後期とも成績表郵送		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>-					
講師プロフィール	一級建築士事務所主宰 建築実務と建築系高等教育機関講師歴30年以上 建築適合判定資格者 一級建築士 二級建築士 インテリアコーディネーター					

シラバス

科目名	建築CAD		担当者名	山崎 琢弥	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1.5単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	54時間
授業目的	CADソフトの2D作図に於ける基本操作とCADによる設計製図の考え方及び進め方の習得を目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築設計製図における基本項目(グリッド、規格寸法等)とCAD作図の基本ルール(レイヤー構成等)を理解し、設計実務を見据えたCAD操作技能の獲得を達成目標とする。 CAD使用は前期にVector Worksによる作図演習を行い、後期にAutoCADでの演習を行う。				
授業概要	木造の建築製図を中心にCADによる設計手法と設計図書作成の基礎(ルール)を学ぶ。 設計図書の読み方や表現方法、作図及びCAD操作の注意点等を授業テーマの実践によって行い作業状況と理解度の確認を行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	CADによる設計手法について	19	CADによる設計手法について	
	2	Vector Works 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	20	Auto CAD 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	
	3	基本操作実習	21	基本操作実習	
	4	基本操作実習(Logo作成)	22	基本コマンド使用による家具図の作成	
	5	基本コマンド使用による家具図の作成	23	平面図作成(6帖、8帖、10帖)	
	6	平面図作成(基準線・通り芯の考え方)	24	平面図作成(扉・窓等の描き方)	
	7	平面図作成(躯体作図方法解説)	25	設計演習1 プランエスキース(6帖ワンルーム程度)	
	8	平面図作成(扉・窓等の描き方)	26	設計演習2 エスキースを元に平面図作成	
	9	平面図作成(設備機器・什器備品の配置)	27	設計演習3 階段の描き方の説明(平面・断面)	
	10	平面図作成(室名、仕上げ等の文字情報の記入)	28	設計演習4 2階建て建物の平面図作成	
	11	平面図作成(寸法の入れ方解説)	29	設計演習5 2階建て建物の平面図作成	
	12	平面図作成(ハッチング、色付等の考え方)	30	設計演習6 2階建て建物の断面図作成	
	13	設計演習1 平屋の建物の平面図作成	31	設計演習7 2階建て建物の断面図作成	
	14	設計演習2 平屋の建物の平面図作成	32	設計演習8 2階建て建物の立面図作成	
	15	設計演習3 平屋の建物の断面図作成	33	設計演習9 特殊形状の考え方及び作図方法 その他データ互換(DXF)、データ共有の説明	
	16	設計演習4 平屋の建物の断面図作成	34		
	17	設計演習5 平屋の建物の立面図作成	35		
	18	設計演習6 データ互換(DXF)、データ共有の説明	36		
成績割合	テスト	なし	学習FB方法		
	学習態度・出席率	出席率80%以上 欠席率10%以内			
	レポート	なし	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点 D:59以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体験型学習>>				
講師プロフィール	アトリエ及び組織事務所での多様な設計経験あり。				

シラバス

科目名	建築実験		担当者名	外塚 浩幸	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	36時間
授業目的	建築材料の基本的知識について実験を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築材料の基本的知識を確認し、構造力学、建築実務との関連に繋げていく。				
授業概要	建築施工を進める上で必要な建築材料の基礎知識としてコンクリート及びコンクリートを構成する材料の性質について実験を通して学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業の目的と実験の進め方に関するガイダンス	19		
	2	セメント比重試験 セメント比表面積試験 セメント安定性試験1	20		
	3	セメント比重試験 セメント比表面積試験 セメント安定性試験2	21		
	4	セメント凝結試験 セメントフロー試験 セメント強度試験1	22		
	5	セメント凝結試験 セメントフロー試験 セメント強度試験2	23		
	6	セメント凝結試験 セメントフロー試験 セメント強度試験3	24		
	7	細骨材ふるいわけ試験 粗骨材ふるいわけ試験1	25		
	8	細骨材ふるいわけ試験 粗骨材ふるいわけ試験2	26		
	9	細骨材比重・吸水量試験 粗骨材比重・吸水量試験1	27		
	10	細骨材比重・吸水量試験 粗骨材比重・吸水量試験2	28		
	11	骨材単位容積質量試験/コンクリート調合設計	29		
	12	コンクリートスランプ試験	30		
	13	コンクリート空気量試験	31		
	14	鉄筋引張強度試験	32		
	15	コンクリート圧縮強度試験	33		
	16	鉄筋非破壊検査	34		
	17	コンクリート非破壊検査	35		
	18	まとめ	36		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>一				
講師プロフィール	一級建築士事務所主宰 建築実務と建築系高等教育機関講師歴30年以上 建築適合判定資格者 一級建築士 二級建築士 インテリアコーディネーター				

シラバス

科目名	測量実習		担当者名	和足 安男		
学 科	建築学科		授業方法	実習		
認定単位	1単位	開講期	必修	授業時間数	36時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	建設業界人として要求される成果物(建築)を創り上げることが出来る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築士や施工管理技士の求められる工事計測の知識や活用術が身についている ・建築の基本となる計測を測量実習を通して学び平板、水準、トランシット測量が容易に出来る 					
授業概要	測量実習を通して測量機器(平板・レベル・トランシット・トータルステーション)の取り扱いを学ぶ。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	距離測量の基礎知識・機器の取り扱い説明	19			
	2	距離測量・外業と作図	20			
	3	水準測量の基礎知識・機器の取り扱い説明	21			
	4	水準測量・外業と記帳法	22			
	5	水準測量・外業と記帳法	23			
	6	水準測量・外業と記帳法	24			
	7	水準測量・内業と測定値の誤差修正	25			
	8	標準偏差・平均値の計算	26			
	9	平板測量の基礎知識・機器の取り扱い説明	27			
	10	平板測量・外業と作図	28			
	11	トランシット測量の基礎知識・機器の取り扱い説明	29			
	12	トランシット測量(単測法)	30			
	13	トランシット測量(倍角法)	31			
	14	トランシット測量(方向法)	32			
	15	トータルステーションの扱い方説明-1	33			
	16	トータルステーションの扱い方説明-2	34			
	17	トータルステーションの扱い方説明-3	35			
18	まとめ	36				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	25%				
	レポート	25%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点、A:80~89、B:70~79、C:60~69、D:59 点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>4020% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>30%					
講師プロフィール	建設業および高等教育機関で40年以上の実務実績のある教員による授業					

シラバス

科目名	二級建築士講座		担当者名	砂子 政仁	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	各々の二級建築士受験についてその基礎知識を学ばせる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	講義、確認テストを通じて三科目(計画・構造・施工)のポイントを押さえる。 法規は通常授業で行う。				
授業概要	同上				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	計画	19		
	2	計画	20		
	3	計画	21		
	4	計画	22		
	5	計画	23		
	6	計画	24		
	7	計画	25		
	8	計画・確認テスト	26		
	9	構造	27		
	10	構造	28		
	11	構造	29		
	12	施工	30		
	13	施工	31		
	14	施工	32		
	15	施工	33		
	16	構造・施工・確認テスト	34		
	17	期末テスト対策	35		
	18	まとめ	36		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	建築デザイン I		担当者名	成田 健志	
学 科	建築学科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	54時間
授業目的	空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授業概要	建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。一枚の紙から作る「ランブシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	オリエンテーション	20		
	3	オリエンテーション	21		
	4	フリーハンドスケッチと平行図法	22		
	5	平行図法と1点透視図法	23		
	6	1点透視図法と2点透視図法	24		
	7	空間のデザイン1(店舗デザイン)	25		
	8	空間のデザイン2(アイソメ、1点パース)	26		
	9	空間のデザイン3(2点パース)	27		
	10	建築のデザイン1「公園の休憩所」	28		
	11	建築のデザイン2(模型制作)	29		
	12	建築のデザイン3(模型制作)	30		
	13	中間プレゼンテーション(模型及びコンセプト)	31		
	14	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	32		
	15	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	33		
	16	空間のデザイン1「通路空間」	34		
	17	建築のデザイン2(模型制作)	35		
	18	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	36		
成績割合	テスト	60(作品評価)	学習FB方法		
	学習態度・出席率	40%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどを行っています。				

シラバス

科目名	建築デザインⅡ		担当者名	塩田 玲子	
学 科	建築学科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1.5単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	54時間
授業目的	建築デザインの基礎を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築物の用途、敷地、規模を設定し、コンセプト、ファーストスケッチ、エスキース、ゾーニング、建築図、模型、プレゼンテーション等の演習を行い、建築をデザインする能力を養う。				
授業概要	既存の建築作品についての資料を収集し、建築CAD等の作図、模型製作を行い、建築設計の基礎を学ぶと共に、後期の卒業制作への準備講座とする。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	建築作品研究	19		
	2	建築図面作成 配置・平面図	20		
	3	建築図面作成 配置・平面図	21		
	4	建築図面作成 配置・平面図	22		
	5	建築図面作成 配置・平面図	23		
	6	建築図面作成 配置・平面図 提出	24		
	7	建築図面作成 立面・展開図	25		
	8	建築図面作成 立面・展開図	26		
	9	建築図面作成 立面・展開図	27		
	10	建築図面作成 立面・展開図 提出	28		
	11	模型製作	29		
	12	模型製作	30		
	13	模型製作	31		
	14	模型製作	32		
	15	模型製作	33		
	16	模型製作	34		
	17	模型製作	35		
	18	プレゼンテーション・講評	36		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上、S90～100点 A80～89	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築設計事務所主宰、一級建築士。				

シラバス

科目名	建築設計製図 I		担当者名	塩田 玲子	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開講期	必修	授業時間数	108時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	建築設計の基本となる製図を基礎から学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	基礎製図に引き続き規模の大きな建物においても最小限果たさなければならない条件や、通常の設計製図を行うプロセスを知り、各種構造体の建物のトレースや詳細図を学んだ上で実際の製図に対する理解を深める。				
授業概要	住宅の設計を通して、実際の設計に必要なエスキスの進め方、考え方を、製図作業内に組み込むことで、描きながらその過程を学ぶ。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	課題説明・エスキス	20		
	3	エスキス	21		
	4	エスキス	22		
	5	配置図	23		
	6	平面図	24		
	7	立面図	25		
	8	断面図	26		
	9	矩計図	27		
	10	模型作成	28		
	11	模型作成	29		
	12	模型作成	30		
	13	パネル作成	31		
	14	パネル作成	32		
	15	講評	33		
	16	課外授業	34		
	17	まとめ	35		
18	まとめ	36			
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	建築設計製図Ⅱ		担当者名	丸山 恭	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	建築設計の基本となる製図をAutoCADで学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	2DCADソフト AutoCADを使い住宅設計をする。				
授業概要	製図の基礎は、建築計画や設計製図の他の課題にも通じ、二級建築士の試験科目でもある。AutoCADを使用し基本的な作図方法、レイヤー管理、データ管理など実社会において必要なスキルも身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ワーク及びディスカッション	19		
	2	AutoCAD操作説明1	20		
	3	AutoCAD操作説明2	21		
	4	AutoCAD操作説明3	22		
	5	AutoCAD操作説明4	23		
	6	AutoCAD操作説明5	24		
	7	AutoCAD操作説明6	25		
	8	AutoCAD操作説明7	26		
	9	AutoCAD操作説明8	27		
	10	エスキス1	28		
	11	エスキス2	29		
	12	エスキス3	30		
	13	設計図作図1	31		
	14	設計図作図2	32		
	15	設計図作図3	33		
	16	設計図作図4	34		
	17	設計図作図5	35		
	18	設計図作図6	36		
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	建築設計製図Ⅲ		担当者名	丸山 恭	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	108時間
授業目的	建築物を設計する際の基本から応用までを、手書き又はCADを使用しながら学習する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	共同住宅、公共建築等の与条件整理、法規制の把握、ボリューム算定、最終的に建築士設計製図試験に対応できる設計能力(主要な一般図の作成)を養うことを目標とする。				
授業概要	敷地条件を考慮し、建築基準法等法規制の確認からボリューム算定を行う。設定された与条件を整理し、配置計画、動線、ゾーニング、構造計画、設備計画等を行いながらエスキースをまとめる。CADを使用し、案内図、配置図、平面図、断面図、立面図、ダイヤグラム、パース等を描き、設計主旨、面積表、スタディ模型の製作、最終的にプレゼンテーション図面にレイアウトし提出する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス、設計の基本	19		
	2	課題の説明、把握、検討	20		
	3	敷地条件の把握、法規制	21		
	4	ボリューム算定	22		
	5	配置計画	23		
	6	ゾーニング、エスキース	24		
	7	ゾーニング、エスキース	25		
	8	ゾーニング、エスキース	26		
	9	平面図作成	27		
	10	平面図作成	28		
	11	平面図作成	29		
	12	断面、立面図の作成	30		
	13	ダイヤグラム、パース等の作成	31		
	14	設計主旨、面積表の作成	32		
	15	スタディ模型の作成	33		
	16	プレゼンテーション図面の作成	34		
	17	プレゼンテーション図面の作成	35		
18	発表、講評	36			
成績割合	テスト	図面提出 50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築設計事務所主宰、保育園・認定こども園5施設、オフィスビル、集合住宅、専用住宅等設計監理。専門学校建築講師歴25年、一級建築士。				

シラバス

科目名	建築設計製図Ⅳ		担当者名	山崎 琢弥	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	108時間
授業目的	CADソフトの2D作図に於ける基本操作とCADによる設計製図の考え方及び進め方の習得を目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築設計製図における基本項目(グリッド、規格寸法等)とCAD作図の基本ルール(レイヤー構成等)を理解し、設計実務を見据えたCAD操作技能の獲得を達成目標とする。 CAD使用は前期にVector Worksによる作図演習を行い、後期にAutoCADでの演習を行う。				
授業概要	木造の建築製図を中心にCADによる設計手法と設計図書作成の基礎(ルール)を学ぶ。 設計図書の読み方や表現方法、作図及びCAD操作の注意点等を授業テーマの実践によって行い作業状況と理解度の確認を行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	CADによる設計手法について	19	CADによる設計手法について	
	2	Vector Works 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	20	Auto CAD 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	
	3	基本操作実習	21	基本操作実習	
	4	基本操作実習(Logo作成)	22	基本コマンド使用による家具図の作成	
	5	基本コマンド使用による家具図の作成	23	平面図作成(6帖、8帖、10帖)	
	6	平面図作成(基準線・通り芯の考え方)	24	平面図作成(扉・窓等の描き方)	
	7	平面図作成(躯体作図方法解説)	25	設計演習1 プランエスキース(6帖ワンルーム程度)	
	8	平面図作成(扉・窓等の描き方)	26	設計演習2 エスキースを元に平面図作成	
	9	平面図作成(設備機器・什器備品の配置)	27	設計演習3 階段の描き方の説明(平面・断面)	
	10	平面図作成(室名、仕上げ等の文字情報の記入)	28	設計演習4 2階建て建物の平面図作成	
	11	平面図作成(寸法の入れ方解説)	29	設計演習5 2階建て建物の平面図作成	
	12	平面図作成(ハッチング、色付等の考え方)	30	設計演習6 2階建て建物の断面図作成	
	13	設計演習1 平屋の建物の平面図作成	31	設計演習7 2階建て建物の断面図作成	
	14	設計演習2 平屋の建物の平面図作成	32	設計演習8 2階建て建物の立面図作成	
	15	設計演習3 平屋の建物の断面図作成	33	設計演習9 特殊形状の考え方及び作図方法、その他データ互換(DXF)、データ共有の説明	
	16	設計演習4 平屋の建物の断面図作成	34		
	17	設計演習5 平屋の建物の立面図作成	35		
	18	設計演習6 データ互換(DXF)、データ共有の説明	36		
成績割合	テスト	なし	学習FB方法		
	学習態度・出席率	出席率80%以上 欠席率10%以内			
	レポート	なし	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点 D:59以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体験型学習>>				
講師プロフィール	アトリエ及び組織事務所での多様な設計経験あり。				

シラバス

科目名	建築設計製図VI		担当者名	上條 淳子	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開講期	必修	授業時間数	108時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	建築・都市空間は「人間の暮らし」の中から生まれる。制作の研究テーマは「本当に必要なもの」とは何か？という検討から始まる。国や文化の違い、気候・風土の違いから分かること、過去に遡ることで見えてくる未来の姿などを参考にしながら、新たな「建築・環境デザイン」を計画し、模型およびプレゼンテーションボードの制作を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	卒業設計にむけて設計のプロセスを習得する。				
授業概要	建築計画、居住学、建築史、構造、設備、構法、材料、施工、法規、および図面表現(製図、CAD、プレゼンテーション)、他の授業で学んだ内容を総合し、複合的な建築の設計をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	課題説明、研究・調査	19		
	2	制作(案の検討)・エスキース	20		
	3	制作(案の検討)・エスキース	21		
	4	制作(イメージボード、コンセプトボード)、中間発表	22		
	5	制作(作図、模型)	23		
	6	制作(作図、模型)	24		
	7	制作(作図、模型)	25		
	8	制作(作図、模型)	26		
	9	制作(プレゼンテーションボード)	27		
	10	講評会	28		
	11	卒業制作に向けて	29		
	12	卒業制作に向けて	30		
	13	卒業制作に向けて	31		
	14	卒業制作に向けて	32		
	15	卒業制作に向けて	33		
	16	卒業制作に向けて	34		
	17	卒業制作に向けて	35		
	18	卒業制作のテーマ・調査内容の発表	36		
成績割合	テスト	%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体験型学習>>				
講師プロフィール	建築の意匠設計を専門とし、住宅、集合住宅、保育園、グループホーム、飲食店などの新築やリフォームの設計監理をしている一級建築士の講師。				

シラバス

科目名	建築設計製図Ⅴ		担当者名	丸山 恭		
学 科	建築学科		授業方法	実習		
認定単位	3単位	開講期	必修	授業時間数	108時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	二級建築士設計製図の基礎を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	卒業後に取得可能となる二級建築士の受験を見据え、学科試験後に実施される二級建築士設計製図のエスキース・作図について学習する。					
授業概要	課題文の読み取り、規模算定方法、エスキースのまとめ方。平面図、立面図、断面図、2階床伏図兼1階小屋伏図、部分詳細図等の作図方法を学習する。					
授 業 計 画 表	授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション	19			
	2	線の引き方、平面図の描き方(RC造)	20			
	3	線の引き方、平面図の描き方(RC造)	21			
	4	1・2階平面図の描き方(RC造)	22			
	5	1・2階平面図の描き方(RC造)	23			
	6	断面図・立面図の描き方(RC造)	24			
	7	課題文の読み取り、エスキース(RC造)	25			
	8	課題文の読み取り、エスキース(RC造)	26			
	9	1・2階平面図の描き方(木造)	27			
	10	1・2階平面図の描き方(木造)	28			
	11	伏図の描き方	29			
	12	伏図の描き方	30			
	13	課題文の読み取り、エスキース(木造)	31			
	14	部分詳細図・矩計図の描き方	32			
	15	一式図作図	33			
	16	一式図作図	34			
	17	まとめ	35			
18	まとめ	36				
成績割合	テスト	図面提出50%	学習FB方法	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール	建築設計事務所主宰、保育園・認定こども園5施設 オフィスビル、集合住宅、専用住宅等 設計監理。専門学校建築講師歴25年、一級建築士。					

シラバス

科目名	PC基礎		担当者名	千葉 輝子	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位	1単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	科目ガイダンス	19	表作成の基本	
	2	文字入力の基本 1	20	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	
	3	文字入力の基本 2	21	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	
	4	文字入力の基本 3	22	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	
	5	ビジネスメールのルール 1	23	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)	
	6	ビジネスメールのルール 2	24	図形の挿入	
	7	ビジネスメール課題 1	25	図形の挿入	
	8	ビジネスメール課題 2	26	画像の編集および表の挿入	
	9	ビジネスメール課題 3	27	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成	
	10	ビジネス文書のルール	28	小テスト(Power Point 総合課題)	
	11	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	29	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	
	12	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	30	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	13	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	31	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	14	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	32	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	15	インデント・タブの設定方法	33	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	16	復習課題	34	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	17	前期期末試験(Word課題)	35	後期期末試験(Excel課題)	
18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	当社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、20年以上のIT系インストラクターとして新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	アジュナン 奈緒美	
学 科	建築学科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	学科で身につけた専門性と個々のアイデアを活かしながらゼミとしてのグループワークでのモノづくりのプロセスを学ぶことを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:個々のアイデア出しとチームビルディング 後期:チームでのモノづくりを提案および実施				
授業概要	前期:与えられた課題に個々がアイデアを提案(頭を柔軟に) チームビルディングとして世界のモノづくりを探索 後期:具体的なテーマに対してグループ提案 実際に制作活動				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	テクノス祭振り返り(個人)	
	2	チームビルディング	20	テクノス祭振り返り(グループ)	
	3	チームビルディング	21	テクノス祭振り返り PPT作成	
	4	グループワーク	22	テクノス祭振り返り PPT作成	
	5	グループワーク	23	テクノス祭振り返り PPT作成	
	6	課題について	24	テクノス祭振り返り PPT作成	
	7	課題について	25	中間発表	
	8	課外活動	26	発表について	
	9	課外活動について	27	課題探求	
	10	課外活動について グループワーク	28	課題探求	
	11	テクノス祭について	29	課題探求	
	12	テクノス祭について	30	課題探求	
	13	テクノス祭について	31	最終発表準備	
	14	テクノス祭について	32	最終発表準備	
	15	テクノス祭について	33	最終発表準備	
	16	テクノス祭について	34	最終発表準備	
	17	テクノス祭について	35	最終発表	
18	テクノス祭準備	36	まとめ		
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>10				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	竹原 誠、宮鍋 涼、井上一輝、 佐藤 大輔、葛原 加奈子、沼田 かな子	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身につける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	キャリアについて考える I	20	卒業visionを磨く	
	3	キャリアについて考える II	21	就活の軸を考える	
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え	
	5	自己探究 I	23	SDGsとこれからの働き方について考える	
	6	自己探究 II	24	就職活動について考える	
	7	グローバルとキャリアについて I	25	就活と生成AIツールの活用について I	
	8	グローバルとキャリアについて II	26	就活と生成AIツールの活用について II	
	9	インターンシップについて考える I	27	特別講座に向けて準備	
	10	インターンシップについて考える II	28	履歴書の書き方について	
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習	
	12	卒業Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう	
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをやってみよう	
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習	
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習	
	16	グループディスカッション練習	34	卒業VISIONの確認	
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り	
18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り		
成績割合	テスト	確認テスト(Form) 30%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	学習態度・出席率				
	レポート	卒業ビジョンの提出 70%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	CAD実習		担当者名	高井 英光	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	54時間
授業目的	2次元CADである「JWW」を使用し、図面読取および基本操作を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	CAD検定3級およびCAD検定2級合格レベルの技術を習得させる。				
授業概要	「階段平面図」・「通り芯・寸法・通り芯記号」・「柱・壁・間仕切壁」などおよび「平面詳細図」・「立面図」をCADを利用し作成させる。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	平面詳細図Aの作図1	
	2	JWW-CADの基本操作1	20	平面詳細図Aの作図2	
	3	JWW-CADの基本操作2	21	平面詳細図Aの作図3	
	4	JWW-CADの基本操作3	22	立面図Aの作図1	
	5	「階段平面図」の作図1	23	立面図Aの作図2	
	6	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図1	24	立面図Aの作図3	
	7	「柱・壁・間仕切壁」の作図1	25	平面詳細図Bの作図1	
	8	「壁と窓」の作図1	26	平面詳細図Bの作図2	
	9	「階段平面図」の作図2	27	平面詳細図Bの作図3	
	10	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図2	28	立面図Bの作図1	
	11	「柱・壁・間仕切壁」の作図2	29	立面図Bの作図2	
	12	「壁と窓」の作図2	30	立面図Bの作図3	
	13	「階段平面図」の作図3	31	平面詳細図Cの作図1	
	14	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図3	32	平面詳細図Cの作図2	
	15	「柱・壁・間仕切壁」の作図3	33	平面詳細図Cの作図3	
	16	「壁と窓」の作図3	34	立面図Cの作図1	
	17	CAD3級総合問題	35	立面図Cの作図2	
18	確認テスト	36	確認テスト・まとめ		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	各課題ごとに図面をチェックし、正しい作図を指導する。 前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	60%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 一級建築士講座講師				

シラバス

科目名	基礎デザイン		担当者名	成田 健志	
学 科	建築学科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	54時間
授業目的	空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授業概要	建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。一枚の紙から作る「ランプシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	オリエンテーション	20		
	3	オリエンテーション	21		
	4	紙と鉛筆によるスケッチ、模型製作の基礎	22		
	5	スチレンボードによる模型制作(空間模型)	23		
	6	スチレンボードによる模型制作(空間デザイン)	24		
	7	スケッチパース、空間のデザイン	25		
	8	グリッドパース、空間のデザイン	26		
	9	木材による模型制作(椅子の模型)	27		
	10	模型による空間構成(立体で考える)	28		
	11	模型による空間構成(コンセプトを考える)	29		
	12	模型による空間構成(素材を考える)	30		
	13	模型による空間構成(仕上げ)	31		
	14	模型による空間構成(写真撮影)	32		
	15	作品をスケッチパースとして描く	33		
	16	光る立体(ランプシェード) エスキス、紙による立体演習	34		
	17	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習	35		
	18	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)	36		
成績割合	テスト	60(作品評価)	学習FB方法		
	学習態度・出席率	40%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどを行っています。				

シラバス

科目名	基礎製図		担当者名	塩田 玲子	
学 科	建築学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1.5単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	54時間
授業目的	建築設計の基本となる製図を基礎から学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	最小限果たさなければならない条件や、通常の設計製図を行うプロセスを知り、木造の各種構造体の建物のトレースや詳細図を書くことで、実際の製図に対する理解を深める。実際の設計に必要なエスキスの進め方、考え方を、製図作業内に組み込むことで、描きながらその過程を学ぶ。				
授業概要	製図の基礎は、建築計画や設計製図の他の課題にも通じ、二級建築士の試験科目でもある。前期の基礎製図は木造に重点を置き製図を進める。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	文字の練習	19		
	2	線の練習	20		
	3	木造住宅の図面 1 配置図 平面図	21		
	4	木造住宅の図面 2 配置図 平面図	22		
	5	木造住宅の図面 3 配置図 平面図	23		
	6	木造住宅の図面 4 配置図 平面図	24		
	7	木造住宅の図面 5 配置図 平面図	25		
	8	木造住宅の図面 6 配置図 平面図	26		
	9	木造住宅の図面 7 立面図 断面図	27		
	10	木造住宅の図面 8 立面図 断面図	28		
	11	木造住宅の図面 9 立面図 断面図	29		
	12	木造住宅の図面 10 矩計図	30		
	13	木造住宅の図面 11 矩計図	31		
	14	木造住宅の図面 12 矩計図	32		
	15	木造住宅の図面 13 矩計図	33		
	16	木造住宅の図面 14 矩計図	34		
	17	木造住宅の図面 15 矩計図	35		
	18	課外授業	36		
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>50% A<主体的参加型学習> G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	建築設計事務所主宰 一級建築士				

シラバス

科目名	2×4建築構造		担当者名	砂子 政仁	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	2×4(枠組み壁工法)工法の設計の考え方、及び構造フレームの寸法、使用場所、考え方を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	テキストを使った座学を踏まえ、その上で2×4(枠組み壁工法)工法のルールに沿って住宅のプランを考えさせる。またハウスメーカーの設計図書及び構造等の画像を使い、更に理解を深めさせる。				
授業概要	テキスト、動画、画像を使い基本のルール等と在来工法との考え方の違いを教え、頭(座学)と手(設計ワーク)を動かして学んでいく。テキストは毎回8ページ(Key word 4項目)進めていく。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	テキスト他を使う講義(1)	19		
	2	テキスト他を使う講義(2)	20		
	3	テキスト他を使う講義(3)	21		
	4	テキスト他を使う講義(4)	22		
	5	テキスト他を使う講義(5)	23		
	6	テキスト他を使う講義(6)	24		
	7	テキスト他を使う講義(7)	25		
	8	テキスト他を使う講義(8)+住宅プランニング(1)	26		
	9	テキスト他を使う講義(9)+住宅プランニング(2)	27		
	10	テキスト他を使う講義(10)+住宅プランニング(3)提出日	28		
	11	テキスト他を使う講義(11)	29		
	12	テキスト他を使う講義(12)	30		
	13	テキスト他を使う講義(13)	31		
	14	テキスト他を使う講義(14)	32		
	15	テキスト他を使う講義(15)	33		
	16	期末テスト対策、テキストその他振り返る。	34		
	17	期末テスト実施	35		
	18	期末テスト返し、講評その他。	36		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	出席率80%以上課題提出100%、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	一級建築士、介護福祉士として設計事務所を主宰する傍ら、専門学校や建築士予備校及び介護現場等で活動する。				

シラバス

科目名	一般構造		担当者名	宮下 紘幸	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に、構造の原理や骨組みの構成について学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	木構造については、内外の仕上げの構造についても学ぶ。さらに、建築構造に関する基礎的なことばについては、十分に理解度出来ることを目標とする。				
授業概要	一般構造で学ぶ用語や知識は、インテリアコーディネーターを目指すうえで設計、施工など他の科目の基本となるものである。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	建築構造の概要 構造の分類と形	19	RC構造の原理と特徴1 構造形式	
	2	建物に作用する力1	20	RC構造の原理と特徴2 基礎の構造	
	3	建物に作用する力2	21	RC構造の原理と特徴3 構造計画の概要 柱の構造と配筋	
	4	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築1	22	RC構造の原理と特徴4 はりの構造と配筋	
	5	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築2	23	RC構造の原理と特徴5 スラブおよび壁の構造と配筋	
	6	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築3	24	RC構造の原理と特徴6 RC構造演習	
	7	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築4	25	鉄骨構造の原理と特徴1 構造形式	
	8	木構造の特徴と種類1 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口	26	鉄骨構造の原理と特徴2 接合方法	
	9	木構造の特徴と種類2 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	27	鉄骨構造の原理と特徴3 高力ボルト接合 溶接	
	10	木構造の特徴と種類3 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	28	鉄骨構造の原理と特徴4 はり、柱の構造	
	11	木構造の特徴と種類4 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	29	鉄骨構造の原理と特徴5 柱脚、基礎	
	12	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎1	30	鉄骨構造の原理と特徴6 耐火被覆	
	13	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎2	31	鉄骨構造の原理と特徴7 構造形式	
	14	2x4の概要1 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	32	鉄骨構造の原理と特徴8 接合方法	
	15	2x4の概要2 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	33	鉄骨構造の原理と特徴9 高力ボルト接合	
	16	2x4の概要3 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	34	鉄骨構造の原理と特徴10 溶接	
	17	木造の内壁、天井、床の構造1 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	35	その他の構造1 鉄骨鉄筋コンクリート構造	
18	木造の内壁、天井、床の構造2 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	36	その他の構造2 コンクリートブロック造		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	出席率80% S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築系実務と高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士 インテリアコーディネーター				

シラバス

科目名	材料工学		担当者名	外塚 浩幸	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	建築材料の規格や物理的性質を理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築材料の規格や物理的性質は一般構造を理解する上で重要である。特に近年、構造や住仕上の材料が変化しており、建築材料に関する知識も重要性を増している。既存の材料の知識習得に加え、新しい建材開発の背景についても触れ、建築実務への意識を涵養する。				
授業概要	前期は構造材の種類とその性質、用途について具体例を挙げながら解説する。後期は仕上げ材および性能材について建築の各部位に必要な性能との関連について解説する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	材料工学のガイダンス	19	レンガ・タイル	
	2	建築材料の歴史と種類、用途、環境と建材について	20	瓦 石材	
	3	木材1 木材の種類と主な性質1	21	土壁・左官材料	
	4	木材2 木材の種類と主な性質2	22	ガラス	
	5	木材3 構造材の規格と強度1	23	下地用ボード類 石膏ボード、ケイ酸カルシウム板等	
	6	木材4 構造材の規格と強度2	24	塗料・接着剤・充填剤	
	7	金属1 鋼材の種類と主な性質1	25	防水材	
	8	金属2 鋼材の種類と主な性質2	26	吸音材・遮音材	
	9	金属3 鋼材の接合	27	断熱材、防火材・耐火材	
	10	金属4 鉄以外の金属(アルミニウム、銅、チタン 金属加工品)	28	木構造と新しい材料1	
	11	コンクリート1 コンクリートとその構成材料	29	木構造と新しい材料2	
	12	コンクリート2 セメントの性質	30	木構造と新しい材料3	
	13	コンクリート3 骨材の性質	31	鉄骨造と新しい材料1	
	14	コンクリート4 フレッシュコンクリートの性質	32	鉄骨造と新しい材料2	
	15	コンクリート5 コンクリートの硬化とその性質	33	鉄筋コンクリート造と新しい材料1	
	16	木材5 仕上げ材1	34	鉄筋コンクリート造と新しい材料2	
	17	木材6 仕上げ材2	35	膜構造と新しい材料	
	18	木材7 エン지니어ウッド	36	まとめ	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>—				
講師プロフィール	一級建築士事務所主宰 建築実務と建築系高等教育機関講師歴30年以上 建築適合判定資格者 一級建築士 二級建築士 インテリアコーディネーター				

シラバス

科目名	構造力学		担当者名	和足 安男	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	108時間
授業目的	建築物の構成と力学的な構造物の種類を学び、構造物を力学的に解析し設計する「力」を養成することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築物に作用する様々な「力」と、それが建築物に与える影響について理解をすすめることを達成目標とする。				
授業概要	建築物の構成及び構造物の種類・名称等については「一般構造」の科目で学ぶので、主として構造物の骨格(骨組)について力学的に学習する。 「構造力学」系の授業と建築士試験との関連に注意し、基礎的知識の確認をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	力の合成分解・モーメント1	19	トラスの解法1	
	2	力の合成分解・モーメント2	20	トラスの解法2	
	3	荷重と支点反力1	21	トラスの解法3	
	4	荷重と支点反力1	22	トラスの解法4	
	5	片持ち梁の反力計算1	23	図心・断面2次モーメント・断面係数 曲げ応力度1	
	6	片持ち梁の反力計算2	24	図心・断面2次モーメント・断面係数 曲げ応力度2	
	7	単純梁における集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図1	25	図心・断面2次モーメント・断面係数 曲げ応力度3	
	8	単純梁における集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図2	26	せん断応力度 許容応力度1	
	9	片持ち梁における集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図1	27	せん断応力度 許容応力度2	
	10	片持ち梁における集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図2	28	せん断応力度 許容応力度3	
	11	単純梁における等分布荷重とせん断力図・曲げモーメント図1	29	許容曲げモーメント 座屈1	
	12	単純梁における等分布荷重とせん断力図・曲げモーメント図2	30	許容曲げモーメント 座屈2	
	13	片持ち梁における等分布荷重とせん断力図・曲げモーメント図1	31	許容曲げモーメント 座屈3	
	14	片持ち梁における等分布荷重とせん断力図・曲げモーメント図2	32	たわみ 不静定構造	
	15	ラーメンの集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図1	33	静定構造の崩壊と全塑性モーメント1	
	16	ラーメンの集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図2	34	静定構造の崩壊と全塑性モーメント2	
	17	3ヒンジラーメンの集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図1	35	不静定構造の崩壊と全塑性モーメント1	
18	3ヒンジラーメンの集中荷重とせん断力図・曲げモーメント図2	36	不静定構造の崩壊と全塑性モーメント2		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	建築史		担当者名	花崎 匠	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	36時間
授業目的	西洋と日本の建築・インテリアの歴史を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築士、インテリアコーディネーター資格試験に必要な歴史分野の基礎知識を習得する。 西洋建築史、日本建築史、近代建築史、インテリアデザイン史を通して建築およびインテリアを見る目を養う。				
授業概要	西洋建築史、日本建築史、近代建築史、インテリアデザイン史について、テキスト「学びのポイント建築史」、講師作成のレジュメ、画像資料を用いながら概説する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	イントロダクション	19	日本建築史1: 神社	
	2	近代建築史/インテリアデザイン史1: トーネットの曲木家具	20	近代建築史/インテリアデザイン史10: パウハウスI	
	3	西洋建築史1: 古代ギリシャ	21	日本建築史2: 寺院I	
	4	近代建築史/インテリアデザイン史2: シェーカーのデザイン	22	近代建築史/インテリアデザイン史11: パウハウスII	
	5	西洋建築史2: 古代ローマ	23	日本建築史3: 寺院II	
	6	近代建築史/インテリアデザイン史3: アーツアンドクラフツ運動/アール・ヌーヴォー	24	近代建築史/インテリアデザイン史12: ミース・ファン・デル・ローエの建築と家具	
	7	西洋建築史3: 初期キリスト教/ビザンティン	25	日本建築史4: 寝殿造/書院/茶室	
	8	近代建築史/インテリアデザイン史4: ウィーン工房/「装飾と罪悪」	26	近代建築史/インテリアデザイン史13: ル・コルビュジエの建築と家具	
	9	西洋建築史4: ロマネスク	27	日本建築史5: 数寄屋/民家	
	10	近代建築史/インテリアデザイン史5: ドイツ工作連盟/AEG	28	近代建築史/インテリアデザイン史14: イームズの家具	
	11	西洋建築史5: ゴシック	29	日本建築史6: 日本建築の要素/様式	
	12	近代建築史/インテリアデザイン史6: イタリア未来派/シュプレマティズム	30	近代建築史/インテリアデザイン史15: アルネ・ヤコブセンの建築とデザイン	
	13	西洋建築史6: ルネッサンス	31	近代建築史/インテリアデザイン史16: デンマークの家具と照明デザイン	
	14	近代建築史/インテリアデザイン史7: ロシア構成主義	32	近代建築史/インテリアデザイン史17: 現代スイスの建築	
	15	西洋建築史7: バロック	33	近代建築史/インテリアデザイン史18: 倉俣史朗のインテリアと家具	
	16	近代建築史/インテリアデザイン史8: デスティールI	34	近代建築史/インテリアデザイン史19: 現代日本の住宅	
	17	西洋建築史8: 新古典主義	35		
	18	近代建築史/インテリアデザイン史9: デスティールII	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上 S: 90~100点、A: 80~89点、B: 70~79点、C: 60~69点、D: 59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築設計・インテリアデザイン・サインデザイン・グラフィックデザイン事務所代表。専門学校非常勤講師歴26年。				

シラバス

科目名	建築計画		担当者名	竹原 誠	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	建築計画の中の計画各論について計画上の諸要素とその具体的検討事項について学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築に係わる上で一般常識として知っておきたい建物、歴史、コンセプト等について、また実務で役立つ建築製図の基本情報や計画全般にわたっての知識を習得する。				
授業概要	建築史、建築環境・設備、建築設計製図、居住学等とも関連する事項が多く、学ぶ範囲が広いので、座学だけでなく演習も交えて計画を学ぶ。二級建築士試験科目でもあり、建築の基礎となることを踏まえて随時小テストを行い、習熟度を確認する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	計画一般1	19	事務所1	
	2	計画一般2	20	事務所2	
	3	各部の計画1	21	ホテル 商業建築1	
	4	各部の計画2	22	ホテル 商業建築2	
	5	各部の計画3	23	ホテル 商業建築3	
	6	住宅1	24	病院・診療所1	
	7	住宅2	25	病院・診療所2	
	8	集合住宅1	26	各種建築物1	
	9	集合住宅2	27	各種建築物2	
	10	小学校 幼稚園・保育所1	28	各種建築物3	
	11	小学校 幼稚園・保育所2	29	高齢者障害者に配慮した計画1	
	12	小学校 幼稚園・保育所3	30	高齢者障害者に配慮した計画2	
	13	図書館1	31	地球環境に配慮した計画1	
	14	図書館2	32	地球環境に配慮した計画2	
	15	美術館1	33	コンバージョンとリノベーション1	
	16	美術館2	34	コンバージョンとリノベーション2	
	17	劇場1	35	コンバージョンとリノベーション3	
	18	劇場2	36	コンバージョンとリノベーション4	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%		S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~	
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	一級建築設計事務所共同主宰 歴26年 高等教育機関教員歴3年				

シラバス

科目名	居住学		担当者名	吉澤 千鶴子	
学科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	変化する社会環境の中で、ともに変化する日常の暮らしを通して、これからの住宅のありかたを考える力を身に着ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住宅(住まい)は生活行為の集まりで成り立っていて、その生活は環境によって大きく変化的に体系的に理解する。				
授業概要	「私たちの住居学」というテキストに沿って、「サステイナブル社会」「バリアフリーデザイン」「ユニバーサルデザイン」「ノーマラゼーション」などをキーワードに住まいと暮らしを学ぶ。 自らの暮らしを通して思考する課題に取り組む機会も設ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	住まいの維持管理①	
	2	サステイナブル社会の住まい①	20	住まいの維持管理②	
	3	サステイナブル社会の住まい②	21	住まいの維持管理③	
	4	サステイナブル社会の住まい③	22	住まいの維持管理④	
	5	サステイナブル社会の住まい④	23	住生活のための人間工学①	
	6	住まいを取り巻く環境①	24	住生活のための人間工学②	
	7	住まいを取り巻く環境②	25	住生活のための人間工学③	
	8	住まいを取り巻く環境③	26	住生活のための人間工学④	
	9	住まいを取り巻く環境④	27	住まいに必要な環境調整①	
	10	住まいを取り巻く環境⑤	28	住まいに必要な環境調整②	
	11	住まいを取り巻く環境⑥	29	住まいに必要な環境調整③	
	12	住生活のあり方とその変遷①	30	住まいに必要な環境調整④	
	13	住生活のあり方とその変遷②	31	子育て家族の住まい、シングル住まい①	
	14	住生活のあり方とその変遷③	32	子育て家族の住まい、シングル住まい②	
	15	住生活のあり方とその変遷④	33	子育て家族の住まい、シングル住まい③	
	16	住生活のあり方とその変遷⑤	34	子育て家族の住まい、シングル住まい④	
	17	住生活のあり方とその変遷⑥	35	まとめ1	
18	前期のまとめ	36	まとめ2		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	25%			
	レポート	25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。				

シラバス

科目名	ユニバーサルデザイン概論		担当者名	吉澤 千鶴子	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	福祉住環境コーディネーター2級試験合格のための対策講座				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築やインテリアに関わる職種に携わる福祉住環境コーディネーター2級を在学中に取得することを目標に定めている。				
授業概要	東京商工会議所から発行されてる公式テキストに沿って、内容を解説し、演習を繰り返しながら知識を定着させていく。単なる暗記ではなく、学生が「福祉住環境」のありかたを自ら考えることができるようになるような指導を心がける。居住学テキストの中にある福祉住環境に関する内容にもふれる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備1 脳血管障害	
	2	高齢者・障害者とバリアフリーデザイン	20	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備2 廃用症候群	
	3	誰にも優しいユニバーサルデザイン	21	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備3 骨折	
	4	生活行為別の福祉住環境整備の手法1 外出①	22	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備4 認知症	
	5	生活行為別の福祉住環境整備の手法2 外出②	23	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備5 関節リウマチ	
	6	生活行為別の福祉住環境整備の手法3 屋内移動①	24	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備6 パーキンソン病	
	7	生活行為別の福祉住環境整備の手法4 屋内移動②	25	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備7 糖尿病	
	8	生活行為別の福祉住環境整備の手法5 排泄	26	高齢者に多い疾患別に見た福祉住環境整備8 心筋梗塞	
	9	生活行為別の福祉住環境整備の手法6 入浴	27	障害別に見た福祉住環境整備1 肢体不自由	
	10	生活行為別の福祉住環境整備の手法7 更衣	28	障害別に見た福祉住環境整備2 内部障害	
	11	生活行為別の福祉住環境整備の手法8 調理と食事	29	障害別に見た福祉住環境整備3 視覚障害	
	12	生活行為別の福祉住環境整備の手法9 団らん	30	障害別に見た福祉住環境整備4 聴覚・言語障害	
	13	生活行為別の福祉住環境整備の手法10 就寝	31	障害別に見た福祉住環境整備5 認知・行動障害	
	14	高齢者の心理機能と特性いろいろ	32	事例研究1	
	15	いろいろな高齢者の住まい	33	事例研究2	
	16	自立支援のための住居改善の必要性和支援体制	34	授業のまとめ1	
	17	自立支援のための住居改善のポイント	35	授業のまとめ2	
	18	高齢者・障害者とバリアフリーデザイン	36	授業のまとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。				

シラバス

科目名	リフォーム概論		担当者名	砂子 政仁	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必修		
授業目的	現代社会におけるリフォーム・用途転用の必要性について学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	現代社会に欠けている共用のパブリックスペースやバリアフリースペースについて、実測並びにアセスメントを行い、リフォームプラン(模型含む)提案していく。 また住宅団地の活性化について検討し提案する。				
授業概要	<p>本年は課題数2～3を予定。</p> <p>課題1、住宅団地の活性化について用途転用をメインに計画案を提案する。</p> <p>課題2、片麻痺の人物を想定し、快適に暮らせるバリアフリーリフォームを提案する。</p> <p>課題3、自宅の使いにくい部分を検証し、快適に暮らせるリフォームを提案する。</p> <p>各々の課題のプレゼンテーションの実施。</p>				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス、建築のここからはなし、着色のルール説明、課題1概略説明、即日課題(残り宿題)。	19		
	2	課題1、課題説明、個人orグループの検討、アセスメント、作業ワークスタート。	20		
	3	作業ワーク	21		
	4	作業ワーク	22		
	5	作業ワーク	23		
	6	作業ワーク	24		
	7	作業ワーク	25		
	8	作業ワーク(模型を含めパネルを完成させる)	26		
	9	提出日、A・Bグループによるプレゼンテーション。	27		
	10	課題2、概要説明(個人課題)、作業ワークスタート。	28		
	11	作業ワーク	29		
	12	作業ワーク	30		
	13	作業ワーク	31		
	14	課題2、提出日、完成プレゼンテーション。	32		
	15	課題3、概要説明(個人課題)作業ワークスタート。	33		
	16	作業ワーク	34		
	17	作業ワーク	35		
18	課題3、提出日、完成プレゼンテーション。	36			
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	10%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上、課題提出率100%、S 90～100点、A 80～89点、B 79～70点、C 60～69点、D 59点不可	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	一級建築士、介護福祉士として設計事務所を主宰する傍ら、専門学校や建築士予備校及び介護現場等で活動する。				

シラバス

科目名	インテリアデザイン概論		担当者名	花崎 匠		
学 科	建築学科		授業方法	講義		
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間	
開講学年	1学年	必・選				
授業目的	インテリアデザインの基礎を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアデザインの基礎知識を習得する。 プレゼンボード制作の基礎技術を習得する。					
授業概要	インテリアデザインの基礎知識について、テキスト「インテリアデザイン入門」を用いながら概説する。 出力画像を使用して各エレメントのアナログプレゼンボード制作を行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19			
	2	インテリアデザインの仕事「対象」「業種・職種」	20			
	3	インテリアを構成する要素「家具・照明・設備・その他」	21			
	4	インテリアの色彩計画とスタイル	22			
	5	インテリアの照明計画	23			
	6	寸法とモジュール	24			
	7	インテリアの構造と仕上げ	25			
	8	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート スタイルイメージボード	26			
	9	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「家具」	27			
	10	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「照明」	28			
	11	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「住宅設備I」	29			
	12	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「住宅設備II」	30			
	13	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート 床壁天井の素材と色彩	31			
	14	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「ウィンドートリートメント・その他」	32			
	15	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート 床壁天井の素材と色彩	33			
	16	演習課題:私の部屋のインテリアコーディネート プレゼンテーション	34			
	17	まとめ	35			
18	まとめ	36				
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	出席率80%以上 S:90~100点、A:80~89点、B:70~79点、C:60~69点、D:59点以下は不合格		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	0%	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	建築設計・インテリアデザイン・サインデザイン・グラフィックデザイン事務所代表。専門学校非常勤講師歴26年					

シラバス

科目名	建築概論		担当者名	竹原 誠	
学 科	建築学科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必修		
授業目的	これから建築を学ぶための導入科目として開講する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築の主要科目である建築計画、環境工学、建築法規、建築構造、構造力学、構造設計、建築施工、建築設計製などの関連性を理解してこれからの学習に役立てる。				
授業概要	築学全般についての知識や職業感を会得するため(計画・意匠系、構造・材料系、環境・設備系)について概説する。さらに、今後の学習に必要な心構えなどをレクチャーする。また、教員が学生のうちに読むべき図書や体験すべき建築を推薦することで学習意欲を促す。				
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容
	1	ガイダンス、建築と各分野のつながり	19		
	2	建築と図面1	20		
	3	建築と図面2	21		
	4	建築と歴史	22		
	5	建築とデザイン1	23		
	6	建築とデザイン2	24		
	7	建築と美しさ	25		
	8	建築と都市	26		
	9	建築と都市	27		
	10	建築と地震	28		
	11	建築と構造	29		
	12	建築と安全性	30		
	13	建築と材料	31		
	14	建築と設備	32		
	15	建築と環境	33		
	16	建築と生産1	34		
	17	建築と生産2	35		
	18	まとめ	36		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	60%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	一級建築士事務所 共同主宰 歴26年 高等教育機関講師歴3年				

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 佐藤・沼田	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位	2	開講期	通年	授業時間数	36コマ
開講学年	1年生	必・選	必修選択		
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	キャリアについて考える I	20	卒業visionを磨く	
	3	キャリアについて考える II	21	就活の軸を考える	
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え	
	5	自己探究 I	23	SDGsとこれからの働き方について考える	
	6	自己探究 II	24	就職活動について考える	
	7	グローバルとキャリアについて I	25	就活と生成AIツールの活用について I	
	8	グローバルとキャリアについて II	26	就活と生成AIツールの活用について II	
	9	インターンシップについて考える I	27	特別講座に向けて準備	
	10	インターンシップについて考える II	28	履歴書の書き方について	
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習	
	12	卒業Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう	
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをやってみよう	
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習	
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習	
	16	グループディスカッション練習	34	卒業VISIONの確認	
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り	
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り	
成績割合	卒業ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 宮鍋・井上	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを描く(磨く)ための知識の醸成と経験の蓄積				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ありたい姿の確立と達成するための経験・スキルを身に着ける				
授業概要	インターンシップなど社会探究に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	オリエンテーション②	
	2	自分の理想の人生を考える①	20	学生と社会人の違い	
	3	自分の理想の人生を考える②	21	学び探究の重要性①	
	4	自己探究の重要性①	22	学び探究の重要性②	
	5	自己探究の重要性②	23	テクノス祭の活用①	
	6	社会探究の重要性①	24	テクノス祭の活用②	
	7	社会探究の重要性②	25	大学コースの価値②	
	8	グローバルな働き方①	26	インターン対策③	
	9	グローバルな働き方②	27	インターン対策④	
	10	大学コースの価値①	28	テーマ別グループワーク①	
	11	WEBテスト	29	テーマ別グループワーク②	
	12	インターン対策①	30	テーマ別グループワーク③	
	13	インターン対策②	31	テーマ別グループワーク④	
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)①	32	テーマ別グループワーク⑤	
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)②	33	卒後VISIONブラッシュアップ②	
	16	卒後VISIONブラッシュアップ①	34	下期・1年の振り返り	
	17	上期の振り返り・下期目標設定	35	具現抽象トレーニング②	
	18	具現抽象トレーニング①	36	具現抽象トレーニング③	
成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	アンケート、面接練習、 履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>〃数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。</p> <p>国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。</p> <p>社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。</p>				
授業概要	<p>〃数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。</p> <p>国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。</p> <p>社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。</p>				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリエンテーション	19	速さの文章問題(2) 日本文学	
	2	数の計算漢字一字の読み	20	規則性などの文章問題(1) 世界文学	
	3	式の計算二字熟語の読み	21	規則性などの文章問題(2) 国語 成績判定試験(2)	
	4	数と量の文章問題(1) 慣用語の読み	22	場合の数(1) 民主主義	
	5	因数分解(1) 常用漢字外の読み	23	場合の数(2) 日本国憲法	
	6	因数分解(2) 漢字一字の書き取り	24	確率(1) 国際社会	
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り	25	確率(2) 資本主義経済・企業	
	8	平方根の計算(1) 同訓異字の書き取り	26	数学 後期成績判定テスト(1) 国民経済・日本の経済	
	9	平方根の計算(2) 同音異義語の書き取り(1)	27	数と式の計算 復習テスト貨幣・金融・財政	
	10	数学 前期成績判定テスト(1)同音異義語の書き取り(2)	28	方程式と不等式 復習テスト(1) 社会 成績判定試験(1)	
	11	1次方程式、連立方程式国語 成績判定試験(1)	29	方程式と不等式 復習テスト(2) 日本史(1)	
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り	30	総合文章題 復習テスト(1) 日本史(2)	
	13	不等式似形異字の書き取り	31	総合文章題 復習テスト(2) 世界史	
	14	数と量の文章問題(2) 書き誤りやすい漢字	32	関数とグラフ 復習テスト日本地理	
	15	割合の文章問題(1) 同字異音・同字異訓の読み書き	33	場合の数と確率(1) 世界地理	
	16	割合の文章問題(2) 四字熟語の読み書きと意味	34	場合の数と確率(2) 思想・社会・文化	
	17	数学 前期成績判定テスト(2) 故事成語・諺・慣用句・金言の完成と意味	35	数学 後期成績判定テスト(2) 社会 成績判定試験(2)	
	18	速さの文章問題(1) 語句の読みと意味	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	〃数学 前期・後期 成績表送付 国語・社会 前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	S:90-100, A:80-89, B:70-79, C:60-69 ,D:0-59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	榎村 麻里子	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全7科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「社会人の常識とマナー」「コミュニケーション論」「ビジネス文書&メールの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化する」「自由が丘とブランディング」				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信制とレポート&試験	19	情報分析力を鍛える①	
	2	オリエンテーション②レポート作成のポイント①	20	情報分析力を鍛える②	
	3	オリエンテーション③年間の取組計画	21	情報分析力を鍛える③	
	4	ビジネス文書&メールの書き方①	22	考える力をつける①	
	5	ビジネス文書&メールの書き方②	23	考える力をつける②	
	6	ビジネス文書&メールの書き方③	24	考える力をつける③	
	7	社会人の常識とマナー①	25	企画力を強化する①	
	8	社会人の常識とマナー②	26	企画力を強化する②	
	9	社会人の常識とマナー③	27	企画力を強化する③	
	10	コミュニケーション論①	28	自由が丘とブランディング①	
	11	コミュニケーション論②	29	自由が丘とブランディング②	
	12	コミュニケーション論③	30	自由が丘とブランディング③	
	13	評論読解と要約のポイント①	31	レポート作成のポイント③	
	14	評論読解と要約のポイント②	32	評論読解と要約のポイント③	
	15	レポート作成のポイント②	33	論理と文章構成②	
	16	論理と文章構成①	34	後期内容振り返り	
	17	前期内容振り返り	35	年間内容振り返り	
18	後期レポート作成計画	36	まとめ		
成績割合	テスト		なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率		50%		
	レポート		50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論、各論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせて授業内容が変わる場合もある。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	刑法(各論):第2課題	
	2	オリエンテーション	20	刑法(各論):第2課題	
	3	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	21	民法(債権総論):第1課題	
	4	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	22	民法(債権総論):第1課題	
	5	レポートの書き方①	23	民法(債権総論):第2課題	
	6	レポートの書き方②	24	民法(債権総論):第2課題	
	7	課題の題意把握	25	民法(債権各論):第1課題	
	8	課題の題意把握	26	民法(債権各論):第1課題	
	9	憲法:第1課題	27	民法(債権各論):第2課題	
	10	憲法:第1課題	28	民法(債権各論):第2課題	
	11	憲法:第2課題	29	憲法(残りの課題)	
	12	憲法:第2課題	30	刑法(残りの課題)	
	13	刑法(総論):第1課題	31	刑法(残りの課題)	
	14	刑法(総論):第1課題	32	民法(残りの課題)	
	15	刑法(総論):第2課題	33	民法(残りの課題)	
	16	刑法(総論):第2課題	34	結果報告	
	17	刑法(各論):第1課題	35	まとめ	
18	刑法(各論):第1課題	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	随時指導する。前期・後期成績表送付。	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でフリーランスライターでもある。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子、原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	日大英文科で二学年に修得すべき科目である、アメリカ文学史とイギリス文学史(18世紀以降)の知識の習得と理解を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	具体的には以下の科目の単位取得を目指す。 ・イギリス文学史Ⅱ(4単位) ・アメリカ文学史(4単位)				
授業概要	基本的には毎回配布するプリントを用いて授業を行う。ただし指定教科書である『イギリス文学史Ⅱ』(日本大学通信教育学部)、『アメリカ小説入門』(研究社)に加え、適宜副次資料を配り、理解の助けとする。 また、同時進行で言及した作家の短編作を読み、内容理解と英文読解にも努める。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	スケジュール説明:レポート期限、テスト期限 ・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要1(清教徒革命の影響)	19	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『緋文字』	
	2	・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要2(フランス革命の影響) ・トリコロール(自由・平等・博愛)	20	アメリカ文学史⑤～⑥までの小テスト	
	3	・イギリス文学史①(ロマン主義・詩)ワーズワース、コールリッジ	21	アメリカ文学史⑨ ポストモダンの時代 i ヘンリー・ミラー、サリンジャー、ビートジェネレーション、アーサー・ミラーなど	
	4	・イギリス文学史②(ロマン主義・詩)バイロン、シェリ、キーツ	22	アメリカ文学史⑩ ポストモダンの時代 ii カポーティ、テネシー・ウィリアムズ、ウォネガット、アップダイク、アーヴィングなど	
	5	イギリス文学史③(ロマン主義・小説)スコット、オースティン アメリカ文学史:歴史的概要	23	アメリカ文学史⑪ マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボフ、ピンチオンなど	
	6	アメリカ文学史① 植民地時代(ピューリタニズム) アン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベンジャミン・フランクリンなど。	24	アメリカ文学史⑨～⑩までの小テスト	
	7	アメリカ文学史② 独立期から西漸運動(ロマン主義の時代 i) ブラウン、アービング、クーパー、エドガー・アラン・ポーなど。	25	イギリス文学史④ ヴィクトリア朝時代 i …ディケンズ、サッカレー、ブロンテ姉妹	
	8	アメリカ文学史③ 独立期から南北戦争まで(ロマン主義時代 ii) エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマン、ディキンソンなど	26	イギリス文学史⑤ ヴィクトリア朝時代 ii …エリオット、メドイス、ギヤスケルら	
	9	アメリカ文学史④ 南北戦争から第一次大戦まで。(リアリズム小説) オールcott、マークトウェイン、ハウエルズ、ジェームズなど	27	イギリス文学史⑥ ヴィクトリア朝時代 iii …テニスン、ブラウニングなど詩人連	
	10	書籍資料を参考にして、Adventures of Huckleberry Finn の特徴(文体・内容・時代背景)を考えてみる。	28	イギリス文学史⑦ 第一次世界大戦とその周辺 i …ハーディ、ヘンリー・ジェームズ、コンラッド、キプリングなど多数	
	11	イギリス文学史①～③ アメリカ文学史①～④までの小テスト	29	イギリス文学史⑧ 第一次世界大戦とその周辺 ii …作家:H.G.ウェルズ、ステューブンソン、コナン・ドイル。詩人:ホプキンス、イェイツ	
	12	アメリカ文学史⑤ 第一次大戦と海外膨張政策(自然主義小説) リス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロンドンなど	30	イギリス文学史⑨ 第一次世界大戦とその周辺 iii …小説家:オズカー・ワイルド、モーム、フォスター。劇作家:バーナード・ショーなど	
	13	ジャック・ロンドン To Build a Fire の読解	31	イギリス文学史⑩ 第二次世界大戦とその周辺 …戦争と歴史。作家:ヴァージニア・ウルフ、ジェームズ・ジョイスなど	
	14	アメリカ文学史⑥ モダニズムの時代…狂騒の20年代 i キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィリアムズ、ヘミングウェイなど。	32	イギリス文学史⑫ 第二次世界大戦から現代まで…「ゆりかごから墓場まで」 作家:ロレンス、オーウェル、グリーン、ゴールディングなど	
	15	アメリカ文学史⑦ モダニズムの時代…狂騒の20年代 ii フォークナー、フロスト、バーンズ、ハーストン、ラングストン・ヒューズなど。	33	文学研究の「テーマ」について① "人種(Race)"	
	16	アメリカ文学史⑧ モダニズムの時代…ジャズ・エイジ iii フィッツジェラルド、ハメット、スタインベック、リチャード・ライトなど。	34	文学研究の「テーマ」について② "社会階級(Social Class)"	
	17	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『ハックルベリーフィンの冒険』	35	文学研究の「テーマ」について③ "性差(Gender)"	
18	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『ロミオとジュリエット』	36	文学研究の「テーマ」について④ "セクシュアリティ(Sexuality)"		
成績割合	テスト		学習FB方法	レポート課題添削、日大からのレポート課題講評、試験結果等	
	学習態度・出席率	50パーセント			
	レポート		成績評価	科目習得試験取り組み状況、学習態度・出席状況	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体験型学習>>30				
講師プロフィール	東京学芸大学・教育学研究科英語教育(英米文学)課程の修士号を取得。 都立の定時制高校ほかで英語講師を14年務めてきた。				

シラバス

科目名	英語基礎 I		担当者名	鈴木良	
学科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	大学コース日大国文学専攻の学生が、卒業に必要な英語科目8単位のうち、2単位を修得できる英語力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 日大通信教育「英語基礎」2単位のレポート課題に合格する。 2. 日大通信教育「英語基礎」2単位の科目修得試験に合格する。				
授業概要	教科書の理解、小テスト、定期試験、レポート課題作成、科目修得試験対策				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	Unit 1		19	Unit 8
	2	Unit 1		20	Unit 8
	3	Unit 1		21	Unit 8 小テスト、Unit 10
	4	Unit 1		22	Unit 10
	5	Unit 1		23	Unit 10
	6	Unit 4		24	Unit 10
	7	Unit 4		25	Unit 10 小テスト、Unit 12
	8	Unit 1 小テスト、Unit 4		26	Unit 12
	9	Unit 4		27	Unit 12
	10	Unit 4		28	Unit 12
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6		29	Unit 12 小テスト、Unit 13
	12	Unit 6、レポート作成		30	Unit 13
	13	Unit 6、レポート作成		31	Unit 13
	14	Unit 6、レポート作成		32	Unit 13
	15	Unit 6		33	Unit 13 小テスト
	16	前期期末試験		34	まとめ
	17	Unit 8		35	後期期末試験
18	Unit 8		36	試験返却	
成績割合	テスト		45%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率		30%		
	レポート		25%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	英文学、英語学を専門とし、日大通信教育部にて中学校、高等学校教員免許(英語)を取得				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるレポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのレポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について	19	連歌の形式	
	2	授業オリエンテーション 履修科目のレポート課題提出について	20	俳諧の歴史	
	3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	21	芭蕉の文学	
	4	国文学科目概要・講義概説	22	謡曲の種類	
	5	「国文学基礎講義」レポート課題概説 レポート作成に向けて	23	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成に向けて	
	6	『日本古典文学』第1章 古代(一記紀と風土記を読む)	24	『国文学講義』I(上代) レポート課題1の作成に向けての、『万葉集』「宴席歌」について。	
	7	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成	25	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成 「万葉集」以外の『万葉集』の「宴席歌」の選定	
	8	『日本古典文学』第7章 近世(一近松と西鶴の文学を読む)	26	『万葉集』の「宴席歌」について	
	9	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成に向けて	27	「国文学講義」I(上代) 課題2 レポート作成に向けて	
	10	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成	28	『万葉集』「宴席歌」から 田辺福麻呂の歌 巻18(4032~4035)	
	11	「国文学概論」レポート作成に向けて	29	『万葉集』「宴席歌」から 橘諸兄の歌 巻17(3926左)	
	12	『国文学概論』(第二分冊) 物語文学	30	『万葉集』「宴席歌」 藤原朝臣仲麻呂の歌から 巻20(4242・4487)	
	13	「国文学概論」課題1 レポート作成	31	『万葉集』「宴席歌」から 巻17(3943~3955)の宴席歌群について	
	14	『国文学概論』(第四分冊) 近代文学	32	『万葉集』「宴席歌」から 大伴坂上郎女の歌 巻4(585・651・652)	
	15	「国文学概論」課題2 レポート作成	33	『万葉集』の宴席を考えるー梅花の宴を通して	
	16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」	34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の作成・提出に向けて	
	17	鴨長明と兼好 『方丈記』・『徒然草』	35	授業まとめ／振り返り	
18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風	36	授業まとめ／振り返り		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%				
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)				

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	担任	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位	2	開講期	通年	授業時間数	36コマ
開講学年	2年生	必・選	必修選択		
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・就活状況の確認	19	後期の講義内容に関して&個人面談	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①	20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②	21	一般常識ワーク&個人面談①	
	4	ビジネス書読書&個人面談③	22	一般常識ワーク&個人面談②	
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面談	23	ビジネス書読書&個人面談③	
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	25	前期で上がった課題に関するワーク	
	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	海外で働くことをイメージ	31	個人面談④ 卒業ビジョンを基に	
	14	一般常識ワーク&個人面談④	32	個人面談⑤ 卒業ビジョンを基に	
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤	33	個人面談⑥ 卒業ビジョンを基に	
	16	前期 振り返りと課題発見	34	確認テスト・まとめ1	
	17	後期の課題解決に向けたGD	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期 振り返り	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	卒業ビジョンの提出		70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)		30%		
	合計		100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	キャリアセンター 井上・(宮鍋)	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを明確化するための知識の醸成と経験を積む。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを磨く。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身につける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク ②知識アンケート	19	オリエンテーション 前期の振り返り	
	2	職業観の醸成(3名のレング職人)	20	社会人基礎力の確認	
	3	社会探究がなぜ必要か	21	自己探究 モチベーショングラフ 自分の価値観	
	4	大学コースの強み	22	社会人のコミュニケーションとは	
	5	社会探究の方法 ヒント	23	学生が企画する授業①	
	6	インターンシップの目的 期間と時間 活用 選び方 探し方	24	学生が企画する授業②	
	7	インターン対策①履歴書編	25	冬のインターンシップの準備	
	8	グローバルな働き方	26	図書館 感銘を受けた本ワーク	
	9	職業人講話	27	ガクチカを具体的に表現する方法	
	10	インターン対策 ルールマナー編&自己探究	28	自己PR 動画作成	
	11	インターン対策 面接編	29	オンライン面接の練習	
	12	夏のインターン報告会趣旨説明	30	Gディスカッション練習	
	13	インターン計画	31	Gワーク練習	
	14	夏のインターン報告会	32	エントリーシートの書き方	
	15	自己探究 自分から見た強み 社会から見た強み	33	冬のインターン報告会	
	16	先輩に学ぶ	34	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
	17	社会探究ワーク	35	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
18	社会探究ワーク	36	自分のありたい姿、磨き直しワーク		
成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	一般常識Ⅱ		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>〃数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。</p> <p>国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。</p> <p>社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。”</p>				
授業概要	<p>〃数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。</p> <p>国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。</p> <p>社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。”</p>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	数学 中間テスト1回目	国語 語句の読みと意味
	2	オリエンテーション	20	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学
	3	オリエンテーション	21	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学
	4	国語 オリエンテーション 数学 百分率・歩合	22	数学 百分率・歩合・速度	国語 成績判定試験
	5	数学 速度	23	数学 単位・比例と比例式	国語 漢字の読み・諺 社会 民主主義
	6	数学 単位	24	数学 小テスト	国語 授業のみ 社会 日本国憲法
	7	数学 比と比例式	25	数学 倍数・約数	国語 漢字の読み・諺 社会 国際社会
	8	数学 倍数・約数	26	数学 因数分解	国語 慣用語・常用漢字外 社会 資本主義経済・企業
	9	数学 因数分解	27	数学 小テスト	国語 漢字一字の書き取り 社会 国民経済・日本の経済
	10	数学 一次方程式	28	数学 一次方程式・連立方程式	国語 二字熟語の書き取り 社会 貨幣・金融・財政
	11	数学 連立方程式	29	数学 二次方程式	国語 同訓異字の書き取り 社会 日本史(近世・近代・現代)
	12	数学 二次方程式	30	数学 小テスト	国語 同音異義語の書き取り 社会 世界史
	13	数学 図形の面積	31	数学 図形の面積	国語 同音異義語の書き取り 社会 日本地理
	14	数学 図形の体積	32	数学 図形の体積	国語 対義語・類義語の書き取り 社会 世界地理
	15	数学 一次関数	33	数学 小テスト	国語 似形異字の書き取り 社会 思想・社会・文化
	16	数学 二次関数	34	まとめ	
	17	数学 場合の数	35	まとめ	
	18	数学 確率	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	成績通知	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≧25% R≪実働実践型学習≧25% A≪主体的参加型学習≧25% G≪海外体感型学習≧25%				
講師プロフィール	<p>〃数学担当 最終学歴：岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。</p> <p>国語・社会担当 最終学歴：慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。”</p>				

シラバス

科目名	特別講座2A 大学支援 総合Ⅱ		担当者名	若林 芳勝	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	選択	授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「人材マネジメント論入門」「ストリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「リーダーシップ論」「チームマネジメント論」				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション		19	講義
	2	オリエンテーション		20	講義
	3	講義		21	講義
	4	講義		22	講義
	5	講義		23	講義
	6	講義		24	講義
	7	講義		25	講義
	8	講義		26	講義
	9	講義		27	講義
	10	講義		28	講義
	11	講義		29	講義
	12	講義		30	講義
	13	講義		31	講義
	14	講義		32	講義
	15	講義		33	講義
	16	講義		34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ		35	定期試験に向けて総まとめ
	18	定期試験に向けて総まとめ		36	定期試験に向けて総まとめ
成績割合	テスト		なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率		50%		
	レポート		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100 A80～89 B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	経営学の知識は社会に出てから必ず必要とされます。一緒に学習しましょう。				

シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1, 民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②	
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①	
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②	
	4	民法1第4課題の解説①	22	民法1第1課題の解説①	
	5	民法1第4課題の解説②	23	民法1第1課題の解説②	
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①	
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②	
	8	民法2第1課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①	
	9	民法2第1課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②	
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①	
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②	
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説	
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①	
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②	
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説	
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①	
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②	
18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>5%				
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	原祥	
学科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選	選択		
授業目的	日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	以下の日大科目に合格する。 1. 英語Ⅰ(2単位) 2. 英語音声学(4単位) 3. 英文法(4単位)				
授業概要	教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	英語Ⅰレポート課題	19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2	
	2	英語Ⅰレポート課題	20	英文法レポート課題2	
	3	英語Ⅰレポート課題、英語Ⅰ試験対策	21	英文法レポート課題2	
	4	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 調音器官、単音について	22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	5	休講(みどりの村)	23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	6	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	7	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	8	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	9	英語音声学: 語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	10	英語音声学: 語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	28	英語文学概説レポート課題1	
	11	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題1	29	英語文学概説レポート課題1	
	12	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	30	英語文学概説レポート課題2	
	13	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	31	英語文学概説レポート課題2	
	14	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	32	スピーチコミュニケーションレポート課題	
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	33	英作文レポート課題	
	16	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	34	まとめ	
	17	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	35	後期期末試験	
18	前期期末試験	36	試験返却		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	70%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	月本 直子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史の意味付けを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するレポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のレポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」	
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論 「敬語」	
	3	国文学史Ⅰ レポート作成	21	国語学概論 「日本語教育」	
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」	
	5	国文学史Ⅰ レポート作成	23	レポート作成	
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」	
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」	
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」	
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」	
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」	
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」	
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 『『新思潮』と大正期教養主義』	
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」	
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」	
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」	
	16	レポート作成に向けて	34	まとめ	
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ	
18	国語学概論 「意味」	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習>70% R≪実働実践型学習>60% A≪主体的参加型学習>80% G≪海外体感型学習>20%				
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。				